

2016年12月5日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部



セビット
「CeBIT 2017」世界最大 B to B IT 関連専門展示会

～2017年3月20日（月）～24日（金）、ドイツ・ハノーバー～

世界が注目するパートナーカントリー“日本”

仮想/拡張現実(VR/AR)に関する新たな展示エリアが誕生！

B to B の IT ソリューションに関する世界最大の展示会「CeBIT 2017」（セビット／国際情報通信技術見本市）は、IoT、ビッグデータ、クラウド、セキュリティなど IT ビジネス分野で世界 70 カ国から 3,300 社が出展し、世界市場に影響をもつ展示会です。（主催：ドイツメッセ株式会社／ドイツ・ハノーバー）

次回 2017 年の CeBIT パートナーカントリー日本は、デジタル化の先駆的存在であることを世界に向けてアピールします。

世界が注目するパートナーカントリー“日本”

仮想現実（バーチャルリアリティ）、AI（人工知能）、サイバーセキュリティ、自律システム、ヒューマノイドロボットといったデジタル最新技術が、次回 CeBIT の最大の焦点となり、日本からも革新的な技術が数多く紹介される予定です。

中核となるジャパン・パビリオン＜日本貿易振興機構（ジェトロ）が設置＞には、100 社以上の企業が集い、医療や農業分野でのロボット利用をはじめ幅広い技術を紹介します。

また、会期中には日本から多くの VIP が講演を行います。

CeBIT のメインイベントである「CeBIT Global Conferences」のスピーカーとして、大阪大学大学院教授の石黒浩氏、セイコーエプソン代表取締役社長の確井稔氏、ユニコムノルタ株式会社取締役代表執行役社長の山名昌衛氏などが予定されています。また、日系アメリカ人企業家で、ウェアラブル、神経技術、ロケーションビッグデータ、および危機管理基盤技術に関する専門家シマダケイ氏も登壇の予定です。

また、CeBIT 初日の 3 月 20 日に開催される「CeBIT Japan Summit」には日本・ドイツの政府関係者や経営幹部が多数参加する予定です。

（※ジャパン・パビリオンの詳細は、2017 年 1 月中旬頃に、ジェトロより発表予定）

仮想/拡張現実（VR/AR）に関する新展示エリア「Virtual & Augmented Reality」

IT における最大のトレンドの一つが、現実世界とデジタル世界の融合です。いわゆる仮想現実と拡張現実（VR/AR）のアプリケーションはすでに、製造、物流、医療、商業など、多くの業種によって採用されるようになってきており、今後も活用はより多くの分野に広がると見

込まれています。米国のコンサルタント会社 Digi Capital のアナリストは、その市場規模は 2020 年までに最大 1200 億ドルに達すると予測しています。結論として、仮想現実と拡張現実、コンピュータゲーム業界のニッチ技術としての初期の状況をはるかに超えて進歩しており、業界の主要企業によれば、次の大ブームになる可能性があります。

今回の CeBIT では、新たな展示エリア「Virtual & Augmented Reality」の設置が決まりました。VR や AR ソリューションが日進月歩のスピードで開発される中、多くの経営者は、こういったアプリケーションが自社の課題解決に最適なのか、さらにはコストや導入までのリードタイムはどのくらいなのか、といったことに非常に高い関心をもっています。

今回の CeBIT 会場では、VR/AR に関する最先端技術の展示を行うとともに、VR/AR 開発者、イノベーター、ユーザーとが直接対話するためのフォーラムなどを設置します。

■ 「CeBIT2017」概要

名 称：CeBIT 2017（セビット 2017／国際情報通信技術見本市）
会 期：2017 年 3 月 20 日（月）～24 日（金）5 日間 9 時 00 分～18 時 00 分
開 催 地：ドイツ・ハノーバー
会 場：ハノーバー国際見本市会場
来場者数：約 200,000 人（前回実績・主催者発表）
出展者数：3,300 社・団体（70 カ国・地域）（前回実績・主催者発表）
主 催 者：ドイツメッセ株式会社
出品分野：情報通信技術

■ ドイツメッセ株式会社について

ドイツ・ハノーバーを本拠地とするドイツメッセ株式会社は、ドイツの見本市主催企業の中で上位 5 社の位置を占めており、世界中で見本市を行っています。

主催する代表的な専門展示会には、CeBIT（情報通信）、HANNOVER MESSE（産業技術）、LABEVOLUTION / BIOTECHNICA（実験技術とバイオテクノロジー）、CeMAT（インフラロジスティクスとサプライチェーン）、didacta（教育）、DOMOTEX（フロアカバリング）、INTERSCHUTZ（防災・安全）、LIGNA（木材加工・林業）など。100 カ国・地域以上に計 66 の代表事務所、子会社、支店を展開しています。

【本件に関するお問い合わせ】

ドイツメッセ日本代表部（一般社団法人日本能率協会内）

担当：竹生、大津、高橋

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル 14F

TEL：03-3434-6447 / FAX：03-3434-8076 / E-Mail: DMS@jma.or.jp

日本能率協会は、2015 年 4 月 1 日より、ドイツ・ハノーバーに世界最大の国際展示会会場を保有するドイツメッセ株式会社の日本におけるセールスパートナーとして、同社が主催する国際展示会への日本企業の出展・来場誘致を行っています。